

県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和4年3月10日 9時現在

陽性者 (累積)	入院中	医療機関	軽症・ 中等症	重 症	宿泊療養 施設 (無症状・軽症)	死 亡	退院等
19,724人	入院予定 を含む 184人 (+11)	入院予定 を含む 92人	無症状 を含む 88人	人工呼吸器 集中治療等 4人	入所予定 を含む 92人	122人	17,122人
(+341)	自宅療養等 (無症状・軽症) 2,296人 (+65)	(+5)	(+5)		(+6)	(+1)	(+264)

検査実績（管轄保健所別）

【R3.12.31現在】

保健所	市 町	管内人口 (R2.10.1)	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
四国中央	四国中央市	82,754	7,386	7,123	263	3.6%
西 条	新居浜市、西条市	220,729	19,325	18,408	917	4.7%
今 治	今治市、上島町	158,181	18,479	18,047	432	2.3%
中 予	伊予市、東温市、久万高原町、 松前町、砥部町	126,550	12,122	11,763	359	3.0%
八幡浜	八幡浜市、大洲市、西予市、 内子町、伊方町	131,669	13,491	13,330	161	1.2%
宇和島	宇和島市、松野町、鬼北町、 愛南町	103,766	12,609	12,391	218	1.7%
松山市	松山市	511,192	65,314	62,299	3,015	4.6%
合 計		1,334,841	148,726	143,361	5,365	3.6%

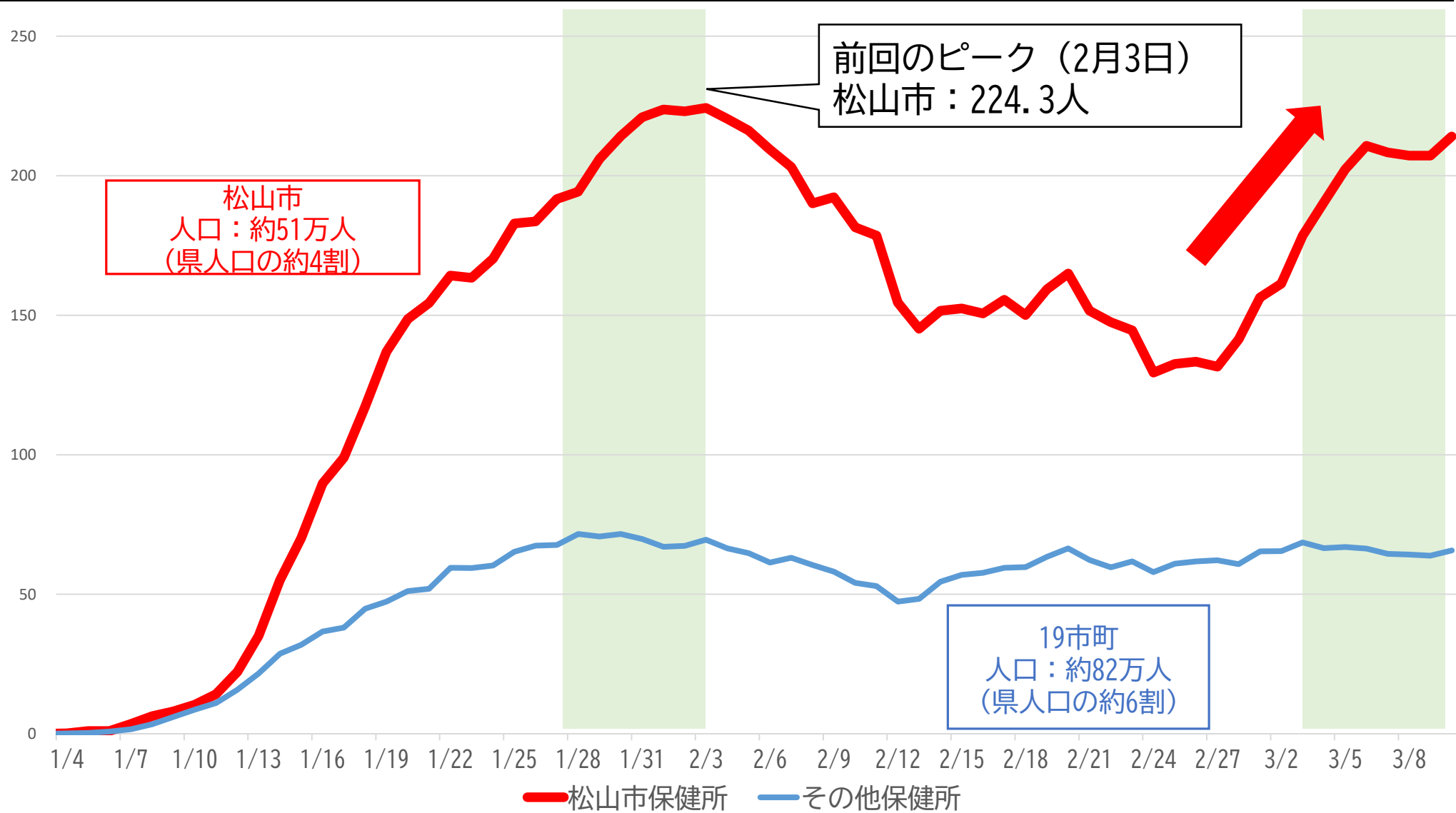
一斉検査	実施時期	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
臨時PCR検査センター	3/30～4/9 8/10～13 8/24～26 10/6～8	6,588	6,563	25	0.4%
繁華街モニタリングキット配布ステーション	①5/24～28 ②6/14～18 ③7/29～30 ④9/13～16 ⑤10/8～13	1,898	1,896	2	0.1%
高齢者施設等一斉検査	4/15～6/1 8/31～9/7	18,885	18,865	20	0.1%

※先月の月末時点の検査実績(管轄保健所別)については、毎月下旬頃に更新する予定です。

人口10万人当たり陽性者数（1週間）の推移

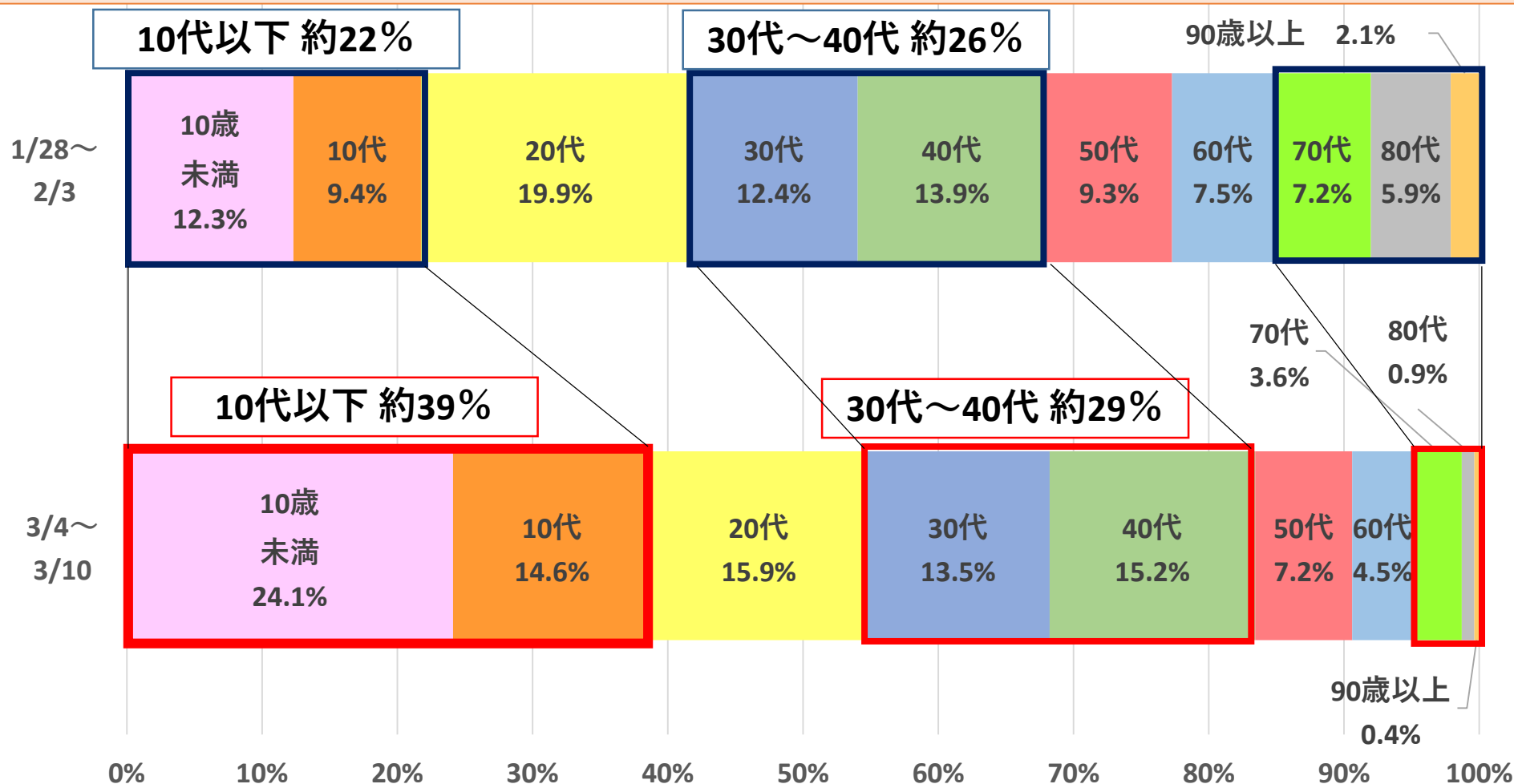
※1/4～3/10公表分

- 県内の陽性確認の過半数を松山市が占め、県内の感染状況に大きく影響
- 県内の感染を減少に向かわせるためには、松山市の感染を抑えることが重要



松山市内の陽性者（一週間）の年代構成比較 （これまでのピーク時と直近）

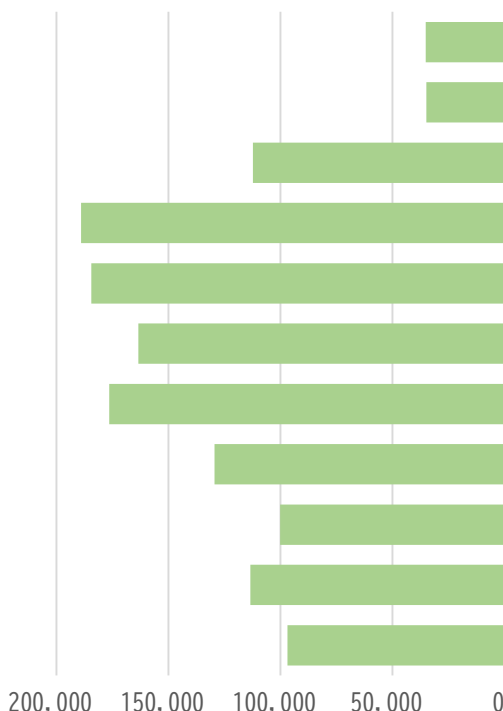
- 10代以下の割合は約22%から約39%に上昇
- 30代～40代の親世代は変わらず高い割合を占める
- 70代以上の割合は大幅に低下



年代別人口と陽性者数の状況（第6波）

○県全体

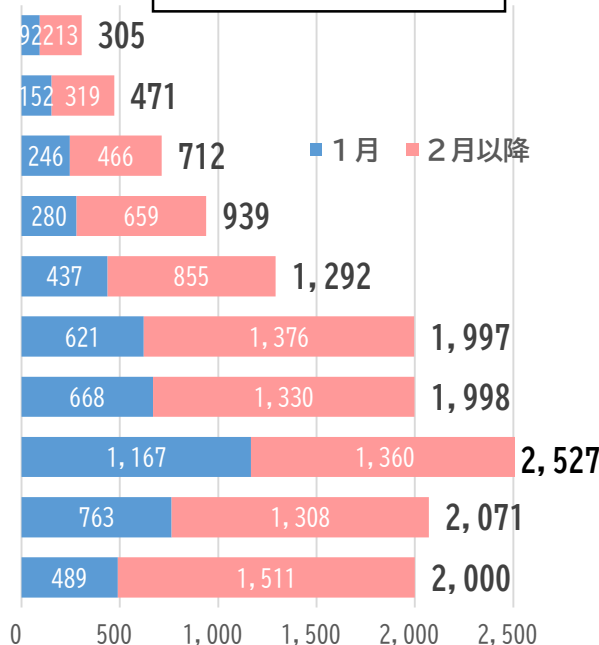
人口：1,334,841人
(R2国勢調査)



年齢不詳	出現率
90歳以上	0.88%
80代	0.42%
70代	0.38%
60代	0.51%
50代	0.79%
40代	1.13%
30代	1.54%
20代	2.53%
10代	1.83%
10歳未満	2.07%

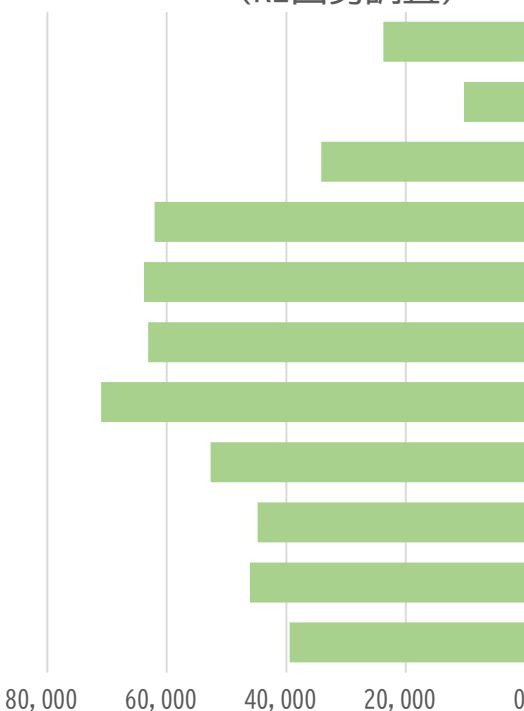
陽性者数
(R4.1.4~3.10公表分)

計14,312名



○松山市

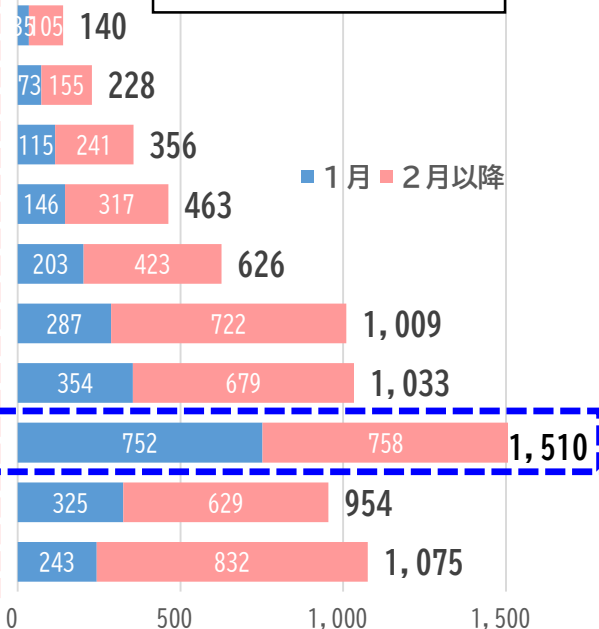
人口：511,192人
(R2国勢調査)



年齢不詳	出現率
90歳以上	1.36%
80代	0.67%
70代	0.57%
60代	0.73%
50代	0.99%
40代	1.42%
30代	1.96%
20代	3.37%
10代	2.07%
10歳未満	2.72%

陽性者数
(R4.1.4~3.10公表分)

計7,394名



全ての年代で県全体を上回っている。
年代別では、県全体と同様、20代が高い。

《松山市感染拡大注意》

市民の皆さんへ

- 体調不良時には出勤や通学を控え、医療機関を受診
 - ※ お子さん（園児、児童等）の体調不良時には、
通園・通学させない
- 不特定多数が集まり混雑が想定される感染リスクの高い場所には行かない
 - ※ 特に、進学や就職を控えた卒業生をはじめ、若い皆さんは、
「集団で」「マスクを外し」「大声を出す」行動は控えて
- 会食ルールを徹底
 - ① 認証店：大人数、長時間を避けて
(1テーブル4人まで、テーブル間隔は十分確保、移動なし)
 - ② 非認証店：4人以下で、概ね2時間以内

市内の事業者の皆さんへ

- 職場内の感染対策の実施状況の再点検と徹底
(職場内のルールが、しっかり実践されているかどうかを確認)
- 従業員の体調確認を徹底。症状がある場合は出勤させない
※県外往来後や、感染リスクの高い行動が確認された場合は特に注意
- お子さんの体調不良時に、従業員が休みやすい環境づくり
- 会食ルールの遵守や感染リスクの高い行動の回避
(従業員のプライベートも含めて)
- 飲食店は、不特定多数を集め混雑が想定される催しを開催しない